

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

定額による減価償却を実施している。

(2) 資産の範囲について

資産の範囲には、現金預金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現 金 預 金	34,235,323	45,673,014
合 計	34,235,323	45,673,014
預 り 金	835,397	1,648,354
合 計	835,397	1,648,354
次期繰越収支差額	33,399,926	44,024,660

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	4,714,065	3,885,653	828,412
合 計	4,714,065	3,885,653	828,412

(単位:円)

区 分	当期末残高	前期末残高
敷 金	13,000	13,000
合 計	13,000	13,000